

闘病記文庫を考える ～ニーズと図書館をつなぐ理想とは～

はじめまして！「図書館に関わる私たちです」現代の図書館を見て考えること、課題
と思う点について話し合い、考えあっているメンバーです。

今回は「闘病記文庫」のニーズと図書館の双方向なつながりについて、名称や資料の
配置の点から考えてみました。皆さんのご意見もお聞かせいただければ嬉しいです。

*** 提案1** ⇒
**立ち寄りやすい
ネーミングは？**

①健康・生活情報コーナー

ここにシールを貼ってください。

②健康サロン文庫

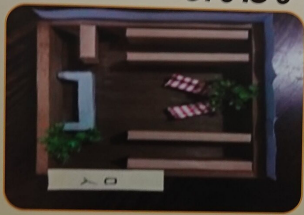
ここにシールを貼ってください。

③ヘルスケア情報コーナー

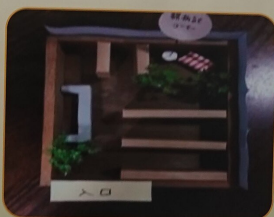
ここにシールを貼ってください。



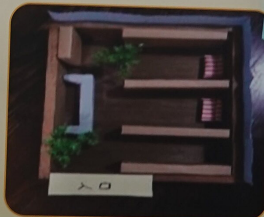
*** 提案2** “立ち寄りやすい闘病記コーナーは？”
あなたならどんな資料配置がいいですか？



フロアの真ん中
に広々スペース
くつろげる空間に
お目当ての本を
持ち込み、皆で
一緒に読書を楽し
む。



隠れ家的な明るい
光のあたる窓際
ゆったりくつろぎ
ながら読書空間。



NDC順に配架
の図書館。
いつものように
書架を利用し、
OPACで闘病
記文庫を検索。

メンバーコラム～ポスター制作に寄せて～ 杖を使い始めて、感じる景色に変化が起きた。杖使用者
に気が付きやすくなり、会話や情報交換へと繋がっていく。「闘病記文庫」も病気という関心事があつて初め
で目に留まり、利用へと繋がるのだろう。疾病の表示が目立ち、通路に沿った場所は健康な人には抵抗
がなくても、病気が身近にある人には、書架の前に立つことさえ勇気がある。そつと医療情報を得たい
利用者に寄り添える、新たな空間の提案を考える。（図書館に関わる私たち（近藤、石田、河野、首））



手紙のポストも
軽に行ける
も行ける

取りください

考える
理想とは～

複本除籍
書架幅90cm
70%収容
使わない
使わない
4冊
4冊

事件① 複本の
どうやっ

事
違